学校番号	3027

令和８年度　地歴公民科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	704　詳説世界史（山川）						
副教材等	アカデミア世界史（浜島書店）、ウイニングコンパス世界史の整理と演習 2026（東京法令）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・学んだ知識、自らで調べた内容などから歴史的思考を使って考え、表現してもらいます。
・グループワークやプレゼンテーション、ジグソー法による授業を行います。
・ノートは、授業のポイントなどまとめるとともに、コメントを書くようにしましょう。
・単元ごとに確認小テストを行います。積み重ねが大切です。がんばりましょう。

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

【知識及び技能】

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、水位、皮革、相互の席連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができたり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	諸地域の歴史的特質の形成	諸地域の歴史的特質の形成 (1)諸地域の歴史的特質への問い (2)古代文明の歴史的特質知識を身に付ける。 (3)諸地域の歴史的特質	a:世界の各地域による文化・文明の発展についての背景を理解できる。 b:世界各地の古代文明における基礎的な知識と地誌的な特徴から文明の成立・発展過程を考察することができる。 c:人類史の大まかな枠組みを把握し、世界史学習への意欲をもつっている。	小テスト 考査	考査 ノート	振り返りシート 観察
	諸地域の交流・再編	(1)諸地域の交流・再編への問い	a:世界ネットワークの形成と遊牧民族による文化の交流について関連地域のとの発展を理解できる。 b:各文化の交流が各地域にどのような影響を及ぼしたのかを考察できる。	小テスト 考査	考査 ノート	振り返りシート 観察

2	諸地域の交流・再編	(2)結び付くユーラシアと諸地域	a:ユーラシアの一体化について理解し、モンゴルが与えた影響とそれに伴う地域の発展を理解できる。 b:イタリア商人による東方貿易とイスラーム文明のヨーロッパへの流入に関する資料を活用し、地中海海域の交流の様相について考察・追究することができる。	小テスト 考査	考査 ノート	振り返りシート 観察
		(3)アジア諸地域とヨーロッパの再編	a:明・清帝国と朝鮮・日本などの中国を中心とした朝貢体制の確立、ムガル帝国・サファヴィー朝・オスマン帝国の動向に関する資料を活用し、基本的知識を身に付ける。 b:14から17世紀にかけてのアジア諸地域世界の社会や文化の特質をアジアの諸国家に関連した資料を活用し考察できる。 c:イスラームや諸文明や物資の流入による商業の発展と経済成長と文化変容が西ヨーロッパに与えた影響について考察し、自らの考えをまとめることができる。	小テスト 考査	考査 ノート	振り返りシート 観察

	諸地域の結合・変容	(1)諸地域の結合・変容への問い (2)世界市場の形成と諸地域の結合	a:主権国家体制の成立と概要と大西洋貿易の展開による世界商業の進展と大西洋貿易の動向について資料を通じて理解することができる。 b:18 世紀における世界の一体化とそれに伴うヨーロッパ各国の変容と貿易体制の変革アフリカ・アメリカの変容について関心を高め、多角的に考察する。	小テスト 考査	考査 ノート	振り返りシート 観察
		(3)帝国主義とナショナリズムの高揚	a:ウィーン体制下での自由主義・ナショナリズム展開によるイタリア・ドイツの統一などヨーロッパによる国民意識の変化と歴史的意義を考察する。 b:アメリカの南北戦争へ発展と先住民や黒人、移民など諸問題について現代社会とのつながりを意識し資料を活用しつつ理解する。 c:帝国主義列強の植民地支配について、民族・国境など現在まで残る問題と関連付けて考察する。	小テスト 考査	考査 ノート	振り返りシート 観察
3	諸地域の結合・変容	(4)第二次世界大戦と諸地域の変容	a:第一次世界大戦についての資料を活用し、第一次世界大戦がもたらした経緯、世界の変化について考察し、理解する。 c:世界恐慌からファシズムの台頭、第二次世界大戦に至るまでの過程を互いに関連付けながら、現代社会の問題点と関連付けをグループワークで考察し発表できる。	小テスト	ノート	観察 発表

	地球世界の課題	(1)国際機構の形成と平和への模索 (2)経済のグローバル化と格差の是正	b:戦後の国際連合の成立、米ソ両陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立に対する理解とともに、1970年頃までの世界の政治・経済の動向について考察する。 c:戦後の自由貿易やIMF体制の成立、西ヨーロッパの経済共同体への成立など、安全保障と経済の協力体制の成立を理解し、日本やドイツなど戦後から経済発展を行った国々と途上国との相違など資料から考察し、自らの考えをまとめ表現できる。	小テスト	ノート	観察 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度